

大淀川水環境 WEB アンケート結果

令和 2 年 2 月

宮崎河川国道事務所

(1) WEB アンケートの実施、集計

WEB アンケートは、令和2年2月10日～13日の4日間で実施、回答数は231件であった。以下に各設問ごとに回答を集計、整理した。

1) Q1

設問 Q1「あなたはこれまでに河川環境に係る活動をされたことがありますか？（複数選択可能です）」の回答は231件であった。最も多い回答は魚釣り91件、次いで清掃活動45件であった。一方、これまでに河川環境に係る活動をしたことはないが112件と約半数が河川環境への活動参加がなく、今回のアンケート対象者は、半数近くは河川環境へのなじみがないことが確認され、環境愛護心は特に高くなく環境改善のバイアスはかからないものと考えられる。なお、その他は「川下り」であった。

表1 河川環境の活動状況

Q1	あなたはこれまでに河川環境に係る活動をされたことがありますか？ (複数選択可能です) 複数回答	N	%
	1 清掃活動	45	19.5
	2 植林活動	3	1.3
	3 カヌー体験	11	4.8
	4 自然体験活動(水遊び等)	42	18.2
	5 ミズベリング(水辺イベント)	2	0.9
	6 自然観察	29	12.6
	7 水環境の環境学習	20	8.7
	8 魚釣り	91	39.4
	9 その他【具体的に記入してください】【 】	1	0.4
	10 これまでに河川環境に係る活動をしたことはない	112	48.5
	全体	231	100.0

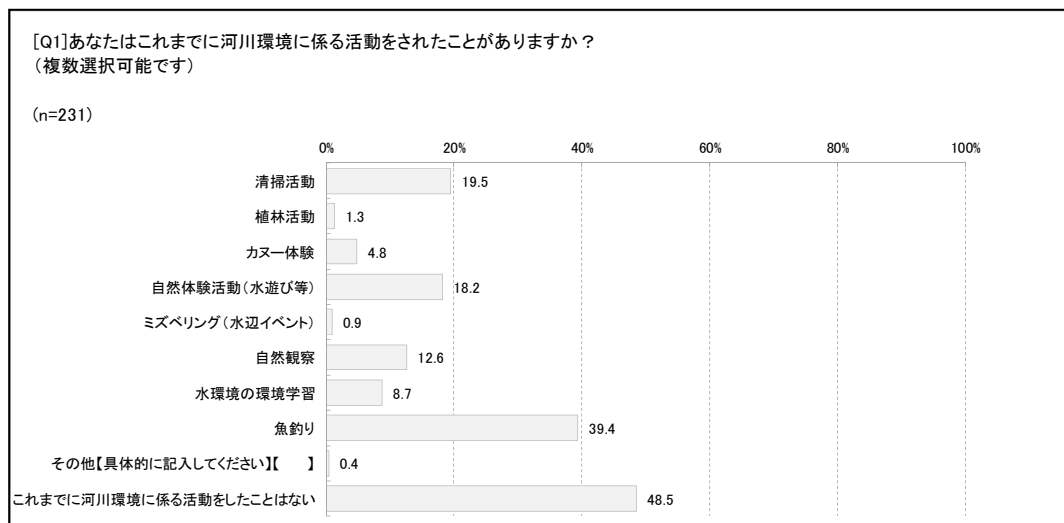


図1 河川環境の活動状況

2) Q2

設問 Q2「以下の宮崎県・鹿児島県の川のうち、あなたにとって身近な川はどれですか？（最もあてはまるものを1つ選んでください）」の回答は231件であった。最も多い回答は大淀川113件、次いで沖水川57件であった。一方、特にないが22件であった。半数近くの回答は大淀川であることが確認され、大淀川は地域住人にとって身近な川であると考えられる。なお、その他は「月野川」であった。

表2 身近な川

Q2	以下の宮崎県・鹿児島県の川のうち、あなたにとって身近な川はどれですか？ (最もあてはまるものを1つ選んでください) 単一回答	N	%
1	大淀川	113	48.9
2	有水川	0	0.0
3	高崎川	5	2.2
4	東岳川	1	0.4
5	庄内川	4	1.7
6	横市川	7	3.0
7	沖水川	57	24.7
8	年見川	12	5.2
9	萩原川	7	3.0
10	梅北川	0	0.0
11	溝之口川	1	0.4
12	その他の川【具体的に記入してください】	2	0.9
13	特にない	22	9.5
	全体	231	100.0

[Q2]以下の宮崎県・鹿児島県の川のうち、あなたにとって身近な川はどれですか？
(最もあてはまるものを1つ選んでください)

(n=231)

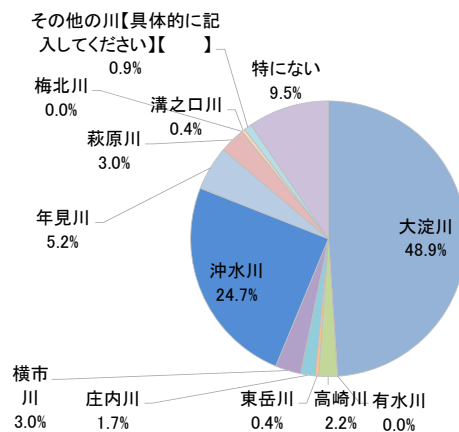


図2 身近な川

3) Q3

設問 Q3「あなたは、身近な川の水がきれいだと感じますか？（1つ選んでください）」の回答は 209 件であった。最も多い回答はふつう 102 件、次いでややきれいが 45 件であった。半数近くの回答は身近な川はふつうであることが確認され、ついでややきれいである回答が多かったことから普通～ややきれいと考えられる。一方、ややきたない 40 件、きたない 11 件（大淀川 7 件、沖水川 4 件）と 24.3%の回答者がきたない傾向にあると捉えている。

表 3 身近な川の水のきれいさ

Q3	あなたは、身近な川【【Q2の選択内容】】の水がきれいだと感じますか？ (1つ選んでください) 単一回答	N	%
2	ややきれい	45	21.5
3	ふつう	102	48.8
4	ややきたない	40	19.1
5	きたない	11	5.3
	全体	209	100.0

[Q3]あなたは、身近な川【【Q2の選択内容】】の水がきれいだと感じますか？
(1つ選んでください)

(n=209)

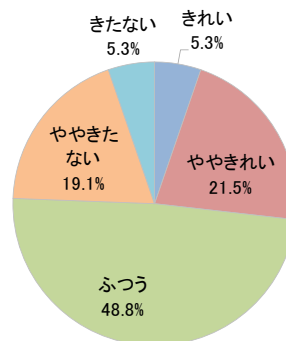


図 3 身近な川の水のきれいさ

4) Q4

設問 Q4「あなたは、身近な川でどのようなことが気になりますか？（複数選択可能です）」の回答は209件であった。最も多い回答は気になることは特にない62件、次いで水が濁っている56件、水の量が少ない48件であった。特に気になることはない一方、水の濁りへの関心が高いものと考えられる。なお、その他は「台風時の氾濫」、「こいが泳いでいる」、「河川の草が伸びている」、「昔のように川で遊べない」、「河川敷」、「中洲ができていて 流れが気になる」、「透明感が低い、川底に泥が沈殿している」であった。

表4 身近な川で気になること

Q4	あなたは、身近な川【【Q2の選択内容】】で どのようなことが気になりますか？ (複数選択可能です) 複数回答	N	%
1	水が濁っている	56	26.8
2	水に色がついている	27	12.9
3	水の臭いがくさい	14	6.7
4	ごみが流れている	45	21.5
5	水の量が少ない	48	23.0
6	その他【具体的に記入してください】【 】	7	3.3
7	気になることは特にない	64	30.6
	全体	209	100.0

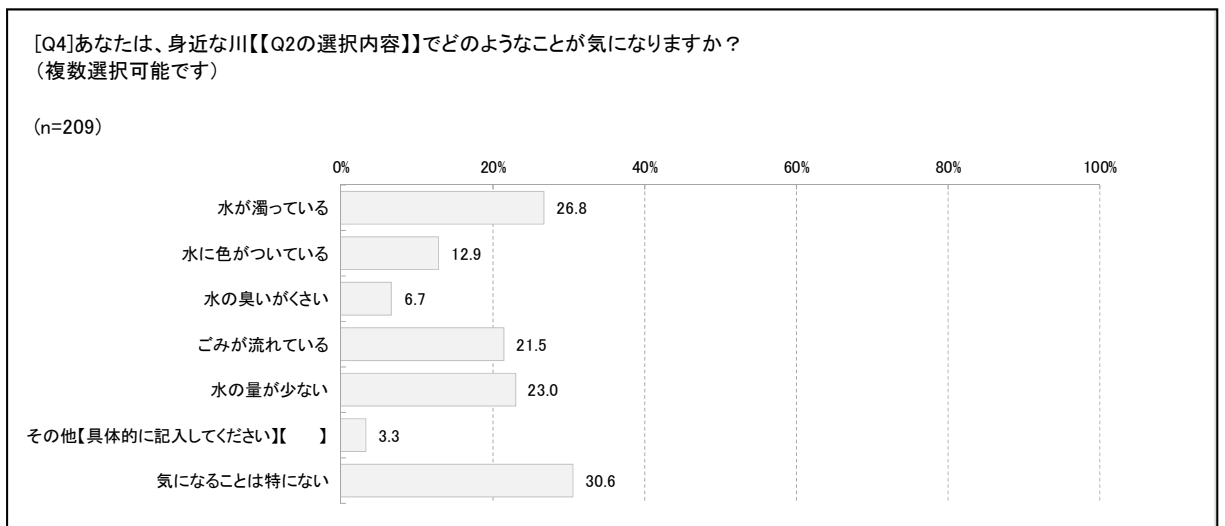


図4 身近な川で気になること

5) Q5

設問 Q5「あなたは、身近な川の水を汚くする原因は何だと思えますか？（最も大きな原因と思うものを1つ選んでください）」の回答は209件であった。最も多い回答は家庭からの雑排水（生活系）93件、次いで牛・豚・鶏等の畜産からの排水（畜産系）44件であった。生活排水、畜産排水を原因と考える回答者が多かった。なお、その他は、「利用する人のマナー」、「ゴミの投げ捨て」であった。

表5 河川水質を悪くする要因

Q5	あなたは、身近な川【【Q2の選択内容】】の水を汚くする原因は何だと思えますか？ （最も大きな原因と思うものを1つ選んでください） 単一回答	N	%
1	家庭からの雑排水（生活系）	93	44.5
2	飲料・食品の企業からの排水（産業系）	8	3.8
3	牛・豚・鶏等の畜産からの排水（畜産系）	44	21.1
4	田・畑・果樹園等の農業からの排水（農業系）	15	7.2
5	山林、市街地等からの排水（面減系）	12	5.7
6	その他【具体的に記入してください】【 】	2	1.0
7	思いつく原因は特にない	35	16.7
	全体	209	100.0

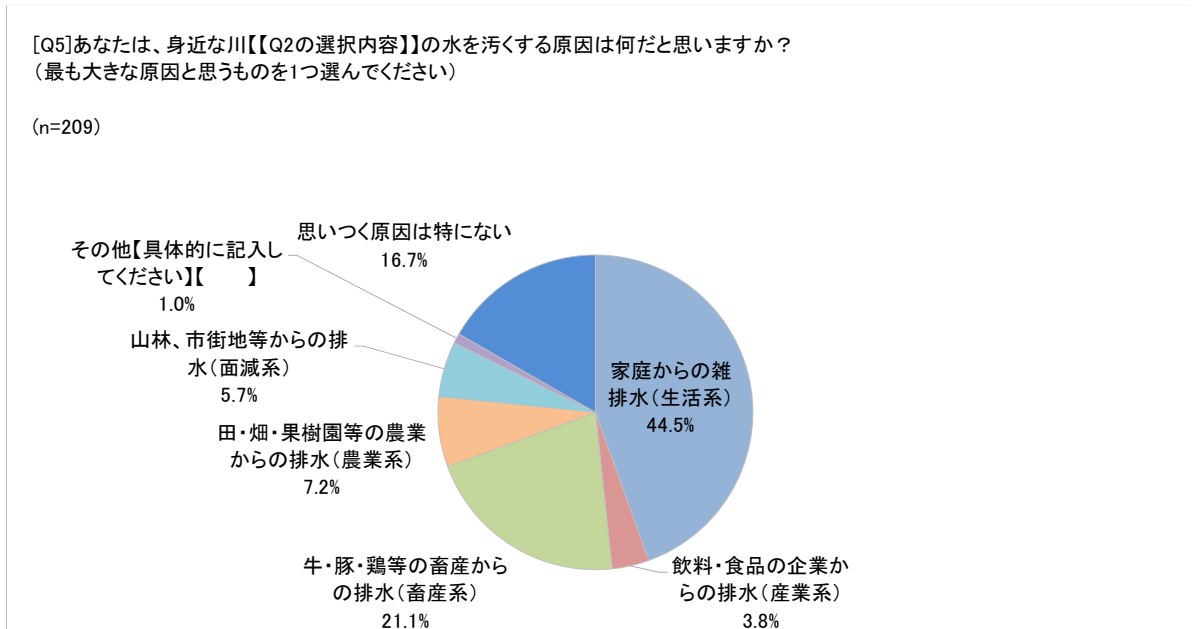


図5 河川水質を悪くする要因

6) Q6

設問 Q6「あなたが家庭排水で工夫していることはありますか？（複数選択可能です）」の回答は 209 件であった。最も多い回答は三角コーナーでの生ごみとり 151 件、次いで油の固化 93 件であった。身近な台所でできることからはじめている回答者が多かった。なお、その他は、「油汚れはふき取る」、「合併浄化槽の機能を発揮できるような様々な工夫」であった。

表 6 家庭排水で工夫していること

Q6	あなたが家庭排水で工夫していることはありますか？ (複数選択可能です) 複数回答	N	%
1	三角コーナーでの生ごみとり	151	65.4
2	生ごみのたい肥化(生ごみ処理機等)	14	6.1
3	お米のとぎ汁を植物に散水	15	6.5
4	油の固化	93	40.3
5	有機洗剤を控える(石けん等)	13	5.6
6	浄化槽の定期点検	53	22.9
7	その他【具体的に記入してください】【 】	2	0.9
8	特にない	42	18.2
	全体	231	100.0

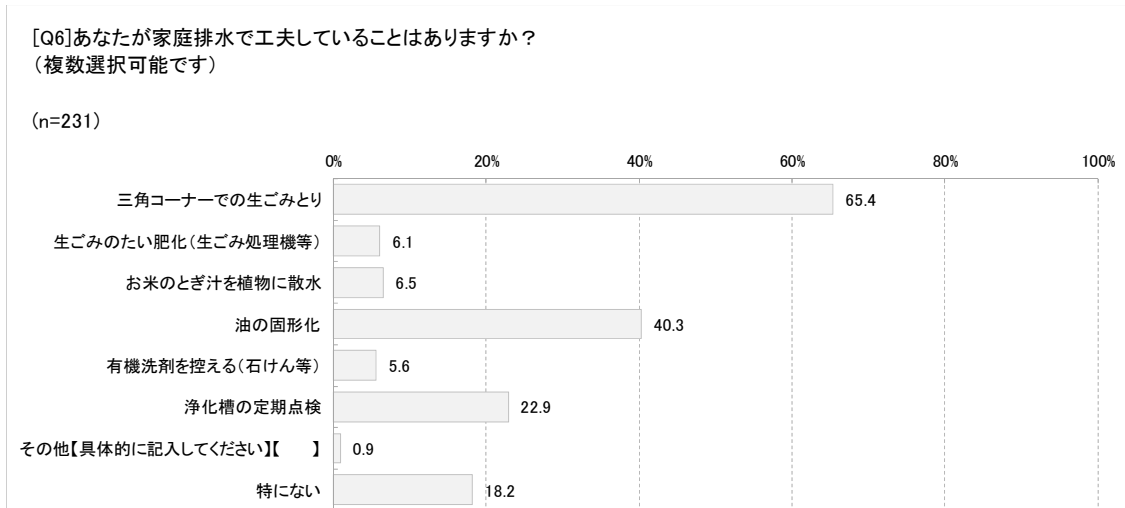


図 6 家庭排水で工夫していること

7) Q7

設問 Q7「あなたは「清流ルネッサンス II」を知っていましたか？（1つ選んでください）」の回答は 231 件であった。知っている 22 件（9.5%）、知らなかった 209 件（90.5%）であり、ほとんどの回答者が知らなかった。本アンケートでは清流ルネッサンス II のパンフレット閲覧が必須であり、宮崎河川国道事務所のホームページでもパンフレットを公開していることから今後、増加していくことが期待される。

表 7 清流ルネッサンス II の認知度

Q7	大淀川の水質は、平成3年には九州の一級河川の中で最も汚れた川にランクされました。 大淀川流域の行政等では、河川浄化に向けた取組みを開始し、平成16年には地域住民一体となって取組む「清流ルネッサンスII」の行動計画を策定しました。 あなたは「清流ルネッサンスII」を知っていましたか？ (1つ選んでください) 単一回答		
		N	%
	1 知っていた	22	9.5
	2 知らなかった	209	90.5
	全体	231	100.0

[Q7]大淀川の水質は、平成3年には九州の一級河川の中で最も汚れた川にランクされました。
大淀川流域の行政等では、河川浄化に向けた取組みを開始し、平成16年には地域住民一体となって取組む「清流ルネッサンスII」の行動計画を策定しました。
あなたは「清流ルネッサンスII」を知っていましたか？
(1つ選んでください)

(n=231)

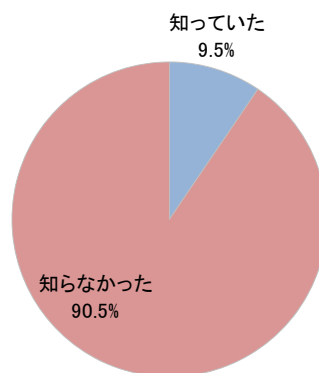


図 7 清流ルネッサンス II の認知度

8) Q8

設問 Q8「あなたは、将来、身近な川をどのようにしたい、どのような川であって欲しいと思いますか？（複数選択可能です）」の回答は 209 件であった。最も多い回答は水遊びできる川 129 件、次いで泳げる川 102 件であった。飲める川は 42 件と比較的少なく、水際で水遊びできる程度のふつうの水質が望まれていると考えられる。

また、自然が豊かな（色々な動植物がいる）川 99 件、釣りができる川 89 件と生態系ネットワークに関する期待も比較的高いと考えられる。なお、その他は、「ホテルが住める」であった。

表 8 身近な川に期待すること

Q8	あなたは、将来、身近な川【Q2の選択内容】をどのようにしたい、どのような川であって欲しいと思いますか？ (複数選択可能です) 複数回答	N	%
	1 飲める川	46	22.0
	2 おいしいお米が育つ川	66	31.6
	3 泳げる川	102	48.8
	4 おいしいお肉(家畜)が育つ川	28	13.4
	5 水遊びできる川	129	61.7
	6 魚つかみができる川	67	32.1
	7 釣りができる川	89	42.6
	8 水際を散策できる川	71	34.0
	9 自然が豊かな(色々な動植物がいる)川	99	47.4
	10 その他【具体的に記入してください】【 】	1	0.5
	11 思い浮かぶものは特にない	9	4.3
	全体	209	100.0

【Q8】あなたは、将来、身近な川【Q2の選択内容】をどのようにしたい、どのような川であって欲しいと思いますか？
(複数選択可能です)

(n=209)

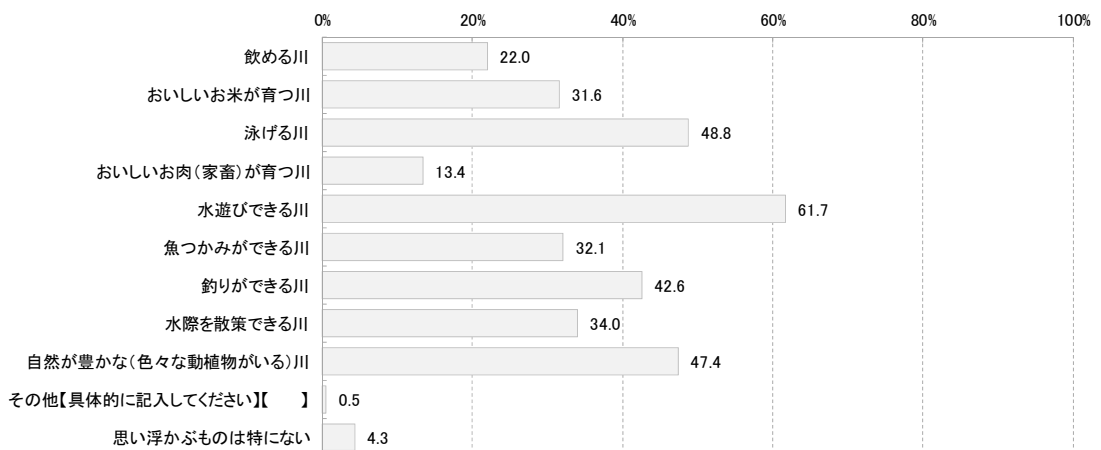


図 8 身近な川に期待すること

9) Q9

設問 Q9「あなたは、身近な川をきれいにするためにハード対策（主に有形の対策）として何が必要だと思いますか？（複数選択可能です。より必要だと思うものを2つまでお選びください。）」の回答は209件であった。最も多い回答は合併浄化槽への切替、下水道への接続（生活系）118件、次いで家畜排せつ物の適正な対策（畜産系）91件であった。生活系対策として合併浄化槽へ・下水道整備、畜産系対策として家畜排せつ物のハード対策が望まれていると考えられる。なお、その他は、「湧水のある環境整備、山林育成等」であった。

表9 必要と考えられるハード対策

Q9	あなたは、身近な川【Q2の選択内容】をきれいにするためにハード対策（主に有形の対策）として何が必要だと思いますか？ （複数選択可能です。より必要だと思うものを2つまでお選びください。） 複数回答	N	%
1	合併浄化槽への切替、下水道への接続（生活系）	118	56.5
2	家畜排せつ物の適正な対策（畜産系）	91	43.5
3	適正な量の肥料散布（農業系）	30	14.4
4	事業場からの法律に従った水質の排水（事業系）	66	31.6
5	その他【具体的に記入してください】【 】	1	0.5
6	ハード対策として必要だと思うものは特にな い	21	10.0
	全体	209	100.0

[Q9]あなたは、身近な川【Q2の選択内容】をきれいにするためにハード対策（主に有形の対策）として何が必要だと思いますか？
（複数選択可能です。より必要だと思うものを2つまでお選びください。）

(n=209)

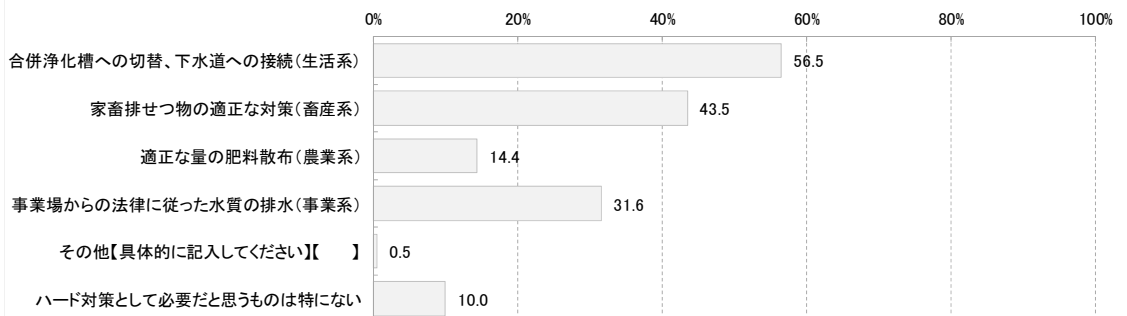


図9 必要と考えられるハード対策

10) Q10

設問 Q10「あなたは、身近な川【【Q2 の選択内容】】をきれいにするためにソフト対策（主に無形の対策）として何が必要だと思いますか？（複数選択可能です。より必要だと思うものを3つまでお選びください。）」の回答は209件であった。最も多い回答は各家庭での生活排水対策135件、次いで清掃活動107件であった。身近で取り組みやすい家庭、河川での清掃活動等のソフト対策が望まれていると考えられる。なお、その他は、「徹底した調査と罰則」であった。

表 10 必要と考えられるソフト対策

Q10	あなたは、身近な川【【Q2の選択内容】】をきれいにするためにソフト対策（主に無形の対策）として何が必要だと思いますか？（複数選択可能です。より必要だと思うものを3つまでお選びください。）	N	%
	複数回答		
1	清掃活動	107	51.2
2	各家庭での生活排水対策	135	64.6
3	植林活動、森林の適正管理	30	14.4
4	HP等による水環境情報発信	11	5.3
5	各種勉強会、イベント、広報等による普及啓発活動	39	18.7
6	水環境の意識向上のための環境学習	47	22.5
7	河川水質モニタリング調査	57	27.3
8	その他【具体的に記入してください】【 】	1	0.5
9	ソフト対策として必要だと思うものは特にない	16	7.7
	全体	209	100.0

[Q10]あなたは、身近な川【【Q2の選択内容】】をきれいにするためにソフト対策（主に無形の対策）として何が必要だと思いますか？
（複数選択可能です。より必要だと思うものを3つまでお選びください。）

(n=209)

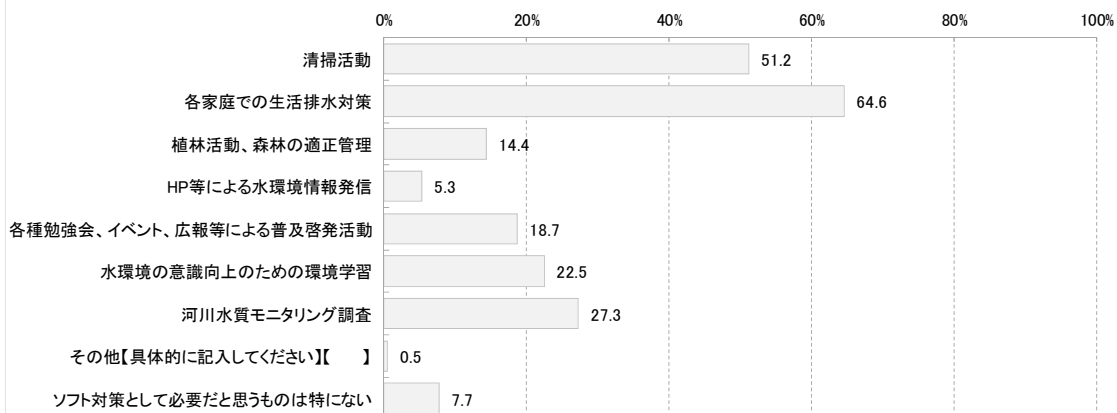


図 10 必要と考えられるソフト対策

(2) 課題の抽出

WEB アンケート結果の回答まとめと課題を以下に示す。回答者である地元住民の意見・要望を課題として捉え、今後の取組に反映・実施していくことが望ましい。

表 11 WEB アンケート結果の回答まとめと課題

設問	回答まとめ	課題
Q1河川環境の活動状況	最も多い回答は魚釣り91件、次いで清掃活動45件であった。一方、これまでに河川環境に係る活動をしたことはないが112件と約半数が河川環境への活動参加がない。	回答者の半数は、河川環境活動への参加がない。河川環境改善のために、まずは現状を知ってもらうために広報により関心を高め、河川愛護心を醸成し、河川に足を運んでもらう必要がある。
Q2身近な川	最も多い回答は大淀川113件、次いで沖水川57件であった。一方、特にないが22件であった。	特にないの回答者が約10%確認された、河川への関心を高めてもらうために広報等が必要である。水害等の防災意識を高めるために防災情報と併せた広報ができることより効果的・効果的と考えられる。
Q3身近な川のきれいさ	最も多い回答はふつう102件、次いでややきれいが45件であった。半数近くの回答は身近な川はふつうであることが確認した。一方、ややきたない40件、きたない11件と24.3%の回答者がきたない傾向にあると捉えている。	24.3%の回答者がきたない傾向にあると捉えているため、さらなす水環境改善が必要である。
Q4身近な川で気になること	最も多い回答は気になることは特にない62件、次いで水が濁っている56件、水の量が少ない48件であった。	水質調査結果より、河川流量が少ない冬季に水質が悪化する傾向になること確認している。冬季には降雨が少なく河川流量が少なくなり、河川水の希釈効果が少なることも広報として周知する必要がある。
Q5河川水質を悪くする要因	最も多い回答は家庭からの雑排水(生活系)93件、次いで牛・豚・鶏等の畜産からの排水(畜産系)44件であった。	既往検討(パンフレットにも記載)より負荷量が多い順に生活系、農業系、畜産系となっている。生活系が多いことは一致しているがその次は農業系であることをパンフレット等広報により地域住民に正しく伝えていく必要がある。
Q6家庭排水で工夫していること	最も多い回答は三角コーナーでの生ごみとり151件、次いで油の固化93件であった。	コストがかからず身近な台所でできる対策が浸透しているが、コストのかかる浄化槽の定期点検はやや低い。浄化槽の法定検査について周知、促進を促すことが望ましい。
Q7清流ルネッサンスIIの認知度	知っている22件(9.5%)、知らなかった209件(90.5%)であり、ほとんどの回答者が知らなかった。	清流ルネッサンスIIの認知度は低い。宮崎河川国道事務所のホームページでもパンフレットを公開していること、関係機関へパンフレットを紙媒体で渡してもらう等の周知により普及啓発を推進していく必要がある。
Q8身近な川に期待すること	最も多い回答は水遊びできる川129件、次いで泳げる川102件であった。飲める川は42件と比較的少なく、水際で水遊びできる程度のふつうの水質が望まれていると考えられる。	回答者の多くは川の水の水質を飲めるまでは要求しておらず、水遊びできる程度の水質を望んでいる。かわまちづくり等による水辺整備で河川へのアクセス改善と併せてある程度の水質を保ちつつ、カヌー、川流れ等のイベント等で河川へ親しんでもらう必要がある。
Q9必要と考えられるハード対策	最も多い回答は合併浄化槽への切替、下水道への接続(生活系)118件、次いで家畜排せつ物の適正な対策(畜産系)91件であった。	単独処理浄化槽→合併処理浄化槽への転換の啓発、補助金等の助成により推進していく必要がある。また、事業者へも適切な水質で排水するように指導を継続していく必要がある。
Q10必要と考えられるソフト対策	最も多い回答は各家庭での生活排水対策135件、次いで清掃活動107件であった。	身近で取組みやすい家庭、河川での清掃活動等のソフト対策が望まれている。河川清掃活動は地元の学校に声をかけると学生はボランティアによる内申点の加減もあり協力しあうことでお互いメリットとなることが期待される。

【WEB アンケート回答者の属性 その1】

SEX	性別 単一回答	N	%
1	男性	89	38.5
2	女性	142	61.5
	全体	231	100.0

AGEID	年齢 単一回答	N	%
1	12才未満	0	0.0
2	12才～19才	4	1.7
3	20才～24才	7	3.0
4	25才～29才	31	13.4
5	30才～34才	33	14.3
6	35才～39才	33	14.3
7	40才～44才	28	12.1
8	45才～49才	34	14.7
9	50才～54才	21	9.1
10	55才～59才	19	8.2
11	60才以上	21	9.1
	全体	231	100.0

PREFECTURE	都道府県 単一回答	N	%
45	宮崎県	200	86.6
46	鹿児島県	31	13.4
	全体	231	100.0

JOB	職業 単一回答	N	%
1	公務員	16	6.9
2	経営者・役員	3	1.3
3	会社員(事務系)	30	13.0
4	会社員(技術系)	23	10.0
5	会社員(その他)	47	20.3
6	自営業	10	4.3
7	自由業	3	1.3
8	専業主婦(主夫)	33	14.3
9	パート・アルバイト	34	14.7
10	学生	7	3.0
11	その他	7	3.0
12	無職	18	7.8
	全体	231	100.0

【WEB アンケート回答者の属性 その2】

CELL	割付セル 単一回答	N	%
1	【都城市】男性 15-19歳	0	0.0
2	【都城市】男性 20代	4	1.7
3	【都城市】男性 30代	14	6.1
4	【都城市】男性 40代	20	8.7
5	【都城市】男性 50代	12	5.2
6	【都城市】男性 60代以上	8	3.5
7	【都城市】女性 15-19歳	3	1.3
8	【都城市】女性 20代	25	10.8
9	【都城市】女性 30代	30	13.0
10	【都城市】女性 40代	23	10.0
11	【都城市】女性 50代	14	6.1
12	【都城市】女性 60代以上	6	2.6
13	【三股町】男性 15-19歳	1	0.4
14	【三股町】男性 20代	0	0.0
15	【三股町】男性 30代	3	1.3
16	【三股町】男性 40代	4	1.7
17	【三股町】男性 50代	3	1.3
18	【三股町】男性 60代以上	2	0.9
19	【三股町】女性 15-19歳	0	0.0
20	【三股町】女性 20代	3	1.3
21	【三股町】女性 30代	6	2.6
22	【三股町】女性 40代	4	1.7
23	【三股町】女性 50代	3	1.3
24	【三股町】女性 60代以上	2	0.9
25	【高原町】男性 15-19歳	0	0.0
26	【高原町】男性 20代	0	0.0
27	【高原町】男性 30代	2	0.9
28	【高原町】男性 40代	2	0.9
29	【高原町】男性 50代	2	0.9
30	【高原町】男性 60代以上	0	0.0
31	【高原町】女性 15-19歳	0	0.0
32	【高原町】女性 20代	0	0.0
33	【高原町】女性 30代	2	0.9
34	【高原町】女性 40代	2	0.9
35	【高原町】女性 50代	0	0.0
36	【高原町】女性 60代以上	0	0.0
37	【曾於市】男性 15-19歳	0	0.0
38	【曾於市】男性 20代	2	0.9
39	【曾於市】男性 30代	3	1.3
40	【曾於市】男性 40代	3	1.3
41	【曾於市】男性 50代	3	1.3
42	【曾於市】男性 60代以上	1	0.4
43	【曾於市】女性 15-19歳	0	0.0
44	【曾於市】女性 20代	4	1.7
45	【曾於市】女性 30代	6	2.6
46	【曾於市】女性 40代	4	1.7
47	【曾於市】女性 50代	3	1.3
48	【曾於市】女性 60代以上	2	0.9
	全体	231	100.0